石屋工務店かわら版
第112号
H26年11月15日発行

石屋工務店
Tel シックニ イシヤサン 075 492-1483
http://www.kyoto-deseo.co.jp/
〒603-8474 京都市北区大宮薬師山東町47-5
建設業/京都府知事(般-25)第31625号 インテリアコーディネーター登録店

粋人 石屋の多趣味人生 その88

久々のゲーム

パソコンでゲーム等は基本しません。昔、ロールプレーイングゲームをしたことが有るのですが、結末が決まっておりただ、そこに進むだけのゲームに虚しさを感じ、それ以来ゲームには手を出さなかったのです。

そんな私が最近ネットのゲームに嵌っています。それはキャンディクラッシュ。知っている方も多いと思いますが、なかなか引き込まれるゲームです。ステージがいっぱいあり、一つずつクリアしていくのですが、簡単に出来るものも有り結構手こずるものも有り、戦略を考える事と、そのステージ毎の癖を掴む事が攻略のポイントです。

最近パソコンで無料のゲームができます。でも実際はステージが上がるごとに難しくなっていき、それを簡単に攻略するにはいろんなアイテムを手に入れる事が重要になります。タダで手に入るアイテムも有りますがお金を出すと簡単にアイテムが手に入ります。

そこが無料ゲームのツボですね。メーカーは巧妙に有料の部分に誘い込もうとします。そこは年の功で、一切お金を使わずにやろうと思っています。

1日5回までと決めて熱くならないように頑張っています。基本お昼休みの時にするのですが、やめられない時もたまに業者の思惑にまんまと嵌っています。

石屋 紀次

最近のこと

ひげを最近そっていなかったので、ひげをそろうと思います。口の中にひげが入っているような感じがして、違和感があるので剃ろうと思います。

今日そばを食べていたら、一緒にひげも食べているような気がして、もう剃ったほうが良いと思いました。

目線を下の方に向けるとひげが視界に入ったので、よほど伸びたのだと思いました。

先週携帯電話が壊れました。スマホですが画面は点灯しているし、充電もできるのですが、触っても一切動きませんでした。強く押してみると、押した所が真っ黒になりました。全く操作出来ないわけではなくて、音声認識で動きました。恥ずかしいので修理しました。

高野 圭亮

体操競技

小学生の娘が器械体操を習っています。ご縁があってアスリートクラスに所属させて頂いているので、下校してから夜遅くまで厳しい練習の日々ですが、娘は根っから体操が好きなので厳しさも苦にならない様子。家でも柔軟のトレーニングを黙々としていますが、180度以上の開脚には驚かされます。簡単そうに見えるので、私も…と真似してみましたが、90度が精一杯でした。(笑)女子の体操競技は、種目別に『ゆか』『平均台』『段違い平行棒』『跳馬』の4種目あります。Dスコア(難度)とEスコア(完成度)合計が大会での得点となり、順位を競います。最近は平均台上での『羊ジャンプ』を練習中ですが、ジャンプの瞬間に上半身、下半身を後方に反り返らせ、『D』の文字の様につま先を頭頂部や額につけるのを見て、人間の体の柔軟性に驚かされる日々です。

岩松 美紀

元気の源に深謝

長男と次男が小学生の時に入っていたサッカーのクラブチームですが、子どもたちは卒団したものの母の私が卒団出来ず、未だに役員としてお手伝いをさせて頂いております。年毎に色々な親御さんとお付き合いさせて頂き、お若い方からエネルギーを頂戴している私です。このクラブチームは年々強くなり長男の時は「勝たないチーム」だったのが今は「勝つチーム」になり、先日は後一勝のところで東京での全国大会を逃しとても残念でした。このクラブチームが毎年十一月に創立記念行事を行います。保護者が豚汁と焼きそばを約二百名分近く作ります。今年は、子どもたちのサポートをして下さる保護者やコーチのためにあんぱんと林檎パンを作ってみました。二代目のパン焼き器を使ったのですが、初代と工程時間が異なり夜中の作業となりましたが皆さん喜んで頂き、嬉しかったです。人との繋がりが元気を頂いていると感じる私です。

石坂 千孝

夢の実現

まもなく三十路を迎えます。とくに『やだなぁ』という気持ちもなく、楽しく毎日が健康に過ごせたらいいなと思っています。10代から20代になる頃は、夢だったカナダ語学留学を実現しました。それがきっかけで、前向き、有言実行、行動力は少し身についたかなと思ったりします。

その後は、4歳からの夢だった建築の仕事に就くことができ、いまの石屋工務店に転職してもうすぐ5年目。たまたまその時期でもありましたが、20代最後にもう一度夢を叶えたくて、わが家のリフォーム工事を行うことになりました。この瓦版が発行される時には完了しています。キッチン、浴室、トイレ、洗面と水廻り全般を生活しながら工事していましたので、両親にはとても不便な生活をさせながらアウトドア生活みたいな毎日でしたが、毎日銭湯に通ったり、火や水がなくても食べられるご飯を作ったり。

不便のなかにも、家族の絆が深まったり。色々ありましたが、完成する日が近づくにつれてこれからの新しい生活が楽しみで仕方ありません。少しでも両親や祖父母が快適に明るく生活できますように★

中島 あゆ美